

地域を元気にしています

長田ふれまち瓦版

地域社会のあたたかいふれあいの中で、子どもから高齢者までが集い、人と人をつなぐさまざまな活動をしている地域の各種団体が中心となって区内21か所で「ふれあいのまちづくり協議会」を結成しています。長田区内のふれあいのまちづくり協議会の活動を紹介します。

重池 地域団体との連携も計画

この一年を振り返ると、コロナ禍も少しずつ落ち着きを取り戻し、ふれまち行事も恐る恐る歩み始めたというのが実感です。総会も2年ぶりに開催し、配食も5月より食事会に切り替え再スタートを切りました。日帰りバスツアーでは秋の京都を満喫し、楽しい一日を過ごしました。令和5年度は、地域団体とタイアップして、人と人のつながりを深め、認知症予防の取り組みについても計画しています。今年こそ平常に戻れるのではないかと楽しみにしています。



高取山 すべての定例活動が復活

コロナによる福祉センター閉館から開館してすぐに育児おしゃべりサロンを再開し、ふれあいヨガサロン、手芸(クラフトサークル)、お箏の活動を順次再開してきました。そして、2月に喫茶を再開したことで、すべてのふれまち定例活動を復活させることができました。今年度は地域の皆さんと協力し、さまざまな世代の方も参加できるような環境づくりを進め、スタッフと子ども楽しみながらいろいろなことにトライしていきたいと思っています。

ふれあい秋まつり
ハロウィンフェスティバル



志里池 若者と地域の結びつきを育む

コロナ禍の影響で以前のような定例行事は開催されていません。先日行われたスマホ教室では、長田中学校総合文化部の部員が参加し、世代間交流を行いました。コロナ前は同クラブ員によるパソコン教室があったり歴史勉強をしたり、長田南小学校1年生を対象にした授業の一環では、ふれまちの高齢者が昔遊び教室の講師をしたりと、小中学生との交流を大切にしています。今年は、行事を通じて幼稚園から大学生と地域との結びつきをさらに強くし、事業を展開していきます。



みすが 世代間交流を生み出したい

今年1年の活動は、七夕祭り、ハロウィン、ふれあい喫茶、カラオケ、恵方巻と、コロナ後の活性化に向けて動き出した1年でした。緊急時に地域力を発揮できるまちにできないか。そのためには平常時から地域でつながりを持つことが大切です。ふれまちの役員は震災後に入ってこられた方も多く、地域の皆さんがふれまちの行事に参加してもらい世代間交流のできる行事を考えていきたいと思っています。



大日丘 常に楽しい交流の拠点として

コロナに振り回されて、思うようには活動ができず、感染予防の徹底と工夫の毎日でした。徐々に活動の輪も広まり、カラオケ教室、折紙、ふれあいサロン大福もにぎわいが戻ってきました。当センターは長田区の一帯で、上り下りの坂が大変です。でも皆さん親切で昔から地域の活動も活発でお元気な方がたくさんいらっしゃるの誇りです。これからも大日丘地域福祉センターが楽しい交流の場となるよう願っております。好きな言葉は「笑門来(大)福」です。



宮川 世代を超えた交流行事を計画

新型コロナウイルス感染症対策実施中でも月2回ふれあい喫茶、寺地サテライト教室、あじさい配食、元気会、各クラブ活動等、年初計画に近い活動を行うことができ、スタッフ一同ならびに皆さんに喜んでもらっています。4月からは、いくママサロンも再開するので、高齢者だけでなく若い世代も参加できるよう、ふたば学舎で養成されたおもちドクターとコラボして、いろいろな行事ができればと願っています。



細田 喫茶、体操、絵手紙にぎわう

細田ふれまちでは、コロナ禍の影響により夏まつりやクリスマス集いのなど、ふれまちを含め地域で行う多くの行事ができずにいました。一方で、ふれあい喫茶、健康体操、絵手紙を開催しています。貸部屋については、なんとか借り手がないか四苦八苦しています。夜間利用の申し込みもあるのですが、条件にあわず借りてもらえないのが現状です。今年以前のようクリスマス集いも開催できるよう頑張っています。



長田庄山 高齢者の安心づくりにも

令和4年度の行事では、ふれあい寄席、ふれあい広場、カラオケ教室、高齢者料理教室を開催することができました。地域団体の活動に協力し、運営面の工夫をできる範囲で続け、防犯・防災活動でも特殊詐欺防止の呼びかけなどを通じて、地域の役に立つふれまちを目指しています。また高齢者が増加すると予想されるので、地域福祉センターとしての役割も増すと考えています。高齢者も安心して住めるまちづくりの役にも立ちたいと考えています。



北町 各種サークル活動でにぎわう

北町2・3丁目、御蔵5・6・7丁目、菅原5・6・7丁目地区住民の福祉活動の拠点に、センターを有効活用し地域の自主的な福祉活動の実施を推進しています。手芸、舞、脳トレ、美と健康の集いなどの各種サークル活動で利用していただいています。今後はふれあい珈琲、研修会(日帰り)、認知症対応講座等(みくら安心センター協賛)、地域活動支援(十歌・すまいみらい協賛協議中)や夏まつりを開催できればと思います。



真陽 若者との関係づくりを大切に

コロナ禍の影響で3年間は顔を合わせて行う行事が少なかったのですが、地域の若者に何とか応えてあげたいという願いで、真陽小学校を卒業した成人になる若者を祝う会は何とか続けてきました。ふれまちは高齢者とのコミュニティが強いと思われがちですが、若者が参加できるコミュニティを作っていくことで、世代を超えた顔の見える関係づくりを構築していきたいです。地域活動に興味のある若者と一緒に活動をしていきたいと考えています。



若松 多くの人の参加を目指して

この1年、コロナ感染対策を施し、ふれあい喫茶、介護予防体操、防災訓練や餅つき大会等を、地域の方々の親睦を高める機会になればと思い実施しましたが、人出は以前より少なかったです。活動としては、行事案内を作成し各自治会・管理組合等に配布しお知らせしています。また催しにおいても、近くの方々に声かけをお願いし、子ども同士誘い合うようにできれば、親睦を深められるのではないのでしょうか。多くの皆さんが、参加しやすいふれまちにできればと考えております。



真野 あたたかなまちづくりを皆で

この3年間は、新型コロナの影響でほとんど活動ができませんでした。しかし、令和5年2月12日には三大イベントのひとつ「ふれあい寒もち」を地域の皆さんの協力のもと開催することができました。真野ふれまちは、地域の高齢者、障がい者、児童、外国人なども含めすべての住民が、地域コミュニティのあたたかいふれあいの中で快適な日常生活を送ることができるまちづくりを、各種団体と連携を図り進めていきます。



会陽 時期に合わせたイベントを開催

3年間行事を中止にしていたため、コロナ前のようなふれまちな行事は行えていません。各教室も解散しており貸し教室もない状態です。そんな中、スマホ教室やフレイル予防の講習会を開催することができました。今後、婦人部による各種教室や、月1回の給食等が地域福祉センターで開催されればと期待しています。令和5年度こそコロナ感染症が終結し、広まりが止まるのを願っています。



長田 行事を通し地域の輪を広げる

2年ぶりに行ったふれあい夏まつりや、毎年恒例のどんどは、万全の対策をとり内容を変更して実施し、地域の皆さんの協力のもと無事終了することができました。年間を通して開催されるさまざまな行事において、関係諸団体と連帯、協力していくことで、世代を超えた地域の人たちとの輪を持ち、人と人の絆ができることを大切にしています。今年は多くの方が参加できるような新しいことに取り組んでいきたいと思っています。



番町 全世代の居場所として

定例行事は、コロナ感染対策を講じたうえで、ずんどこ体操、茶会、映画鑑賞、配食を行っています。また地元の子どもたちとの年末子どもパトロールや、健康広場にて学校や地域と連携した防災訓練を開催することができました。番町地区は、まちっ子広場や健康広場と野外スペースが充実しており、幼稚園児からお年寄りまで学習や健康維持、子どもの居場所づくりとして皆さんに利用していただいています。今年こそコロナが収束してくれることを願っています。



丸山 初めての取り組みも積極的に

丸山ではコロナ感染に留意しながら、早い時点で習字、絵手紙、ふれあい教室、音降る街角等の通常の事業を地域の高齢者の引きこもり防止にと再開しました。ふれあい喫茶は安全性を考慮し、令和4年5月から形を変えて始めました。初行事として小学生低学年向けのプログラミング体験会を、地域向けに餅つき大会を、好評のうちに開催することができました。今後は世代問わず利用していただける福祉センターでありたいと思っています。



池田 行事を通し地域のふれあいを

コロナ前には、もちつき大会、運動会、盆踊り、子どもみこし等の地域行事を開催してきましたが、ここ3年間は思うように行事をできず、福祉センターでの団体グループ活動にとどまっていた。その中で2月に3年ぶりにもちつき大会を、地域の皆さんの協力によって開催することができました(写真)。今後も行事を通じて地域の人々の交流を図り、より住みやすいまちづくりと防災力を高め、地域の皆さんが安心できる環境づくりを行っていききたいです。



名倉 お便利発行し行事を広く発信

コロナ禍で、感染症防止対策を講じたうえで健康体操ステップダンス、介護予防健康教室、昔あそびの会、LEGOプログラミング体感会、防災訓練等のふれまち行事を開催しました。また、ふれまちだよりを年6回発行し、行事等のお知らせをしています。3年間のブランクで委員のほとんどが高齢化してきていますが、子どもたちと共に地域の交流をより一層深め、心の通った住みよいまちづくりを進めていきたいと考えています。



二葉 世代を超えた楽しい催しを

5月から喫茶、子育てサークル、デイ、パソコン教室、お茶等の事業を再開しています。大きなイベントとして、3年ぶりに防災訓練を行いました。1月14日には茶会(初釜)を開催しました。多くの方に参加いただき、厳かに先生の立てたお茶を堪能していました。コロナ前に開催していたクリスマス会や囲碁ボールはまだ再開できていませんが、人の数はコロナ以前とさほど変わりません。今年は若い人からお年寄りまで楽しく集えるふれまちにしたいです。



長楽 たくさんの人と楽しむ行事

感染対策を徹底してふれあい喫茶や各教室などコロナ前の行事を行いました。また地域に向けた活動として、12月の年末警戒や1月の新春お祝いの会(配布)を行いました。ふれまちは住民の皆さんの安心・安全な地域を維持し、お年寄りには優しいまちに、子どもにとって健やかに育っていけるまちになるよう活動していきます。来季こそコロナ前の活動を復活させ、多くの皆さんに参加していただける行事を進めていきたいです。



野田北部 子どもたちへ季節の行事

親子のふれあいと地域の方にふれまちに興味を持っていただくために、子ども向けにはクリスマス会、ハロウィン、夏休みお楽しみ会を実施しました。また、大人向けには、ふれあい喫茶や水彩画教室を行っています。この他、秋の日帰りバス旅行や年末の餅つき大会等地域行事にも協力、参加しています。地域の公園の特別清掃として雑草取りを呼びかけたところ、新しい人の参加もあり40名ほどが参加してくれました。



長田区役所
令和5年度もふれまちワンチームで
頑張ります!

発行 長田区役所 令和5年3月30日
〒653-8570 長田区北町3-4-3
TEL:078-579-2311 FAX:078-579-2301

KOBE